

平成30年 7月13日

報 告 書

大田原市広報広聴委員会委員長 櫻井 潤一郎 様

大田原市議会 第3班班長 高木 雄大

大田原市議会報告会実施要項第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 平成30年6月28日（木） 午後19時00分～20時30分

2. 会 場 トコトコ大田原

3. 担当議員と役割

【担当議員】

高木 雄大（班長）
高木 雄大（司会者）
藤田 紀夫（総務常任委員会発表者）
中川 雅之（民生 " ）
星 雅人（建設産業 " ）
高木 雄大（文教 " ）
小林 正勝（建設産業常任委員会 ）

4. 参加者 別紙受付表のとおり

- ・市内 4名（男性3名、女性1名）
- ・市外 6名（男性5名、女性1名）

5. 意見交換会の内容

- Q 高齢者が色々な要所にウォーキングできる公園の整備があるとうれしい。小さい単位で健康づくりできる体制づくりが必要ではないか。ウォーキングしている人は多くなったが道が狭く、安全面の課題がある。
- Q 施設をただ作るだけでなく、どうしたら活用してもらえるか、システムづくりが必要では、距離の問題、足の問題など
- A 本市ではほほえみセンターやウォーキング健康ポイントなど活用してもらっているが、確かにほほえみセンターがあってもそこに行けない人がいる。問題になっている。
- Q 自分が社会に貢献しているという充実感、人との交流が高齢者には必要。人材ボランティア登録制度が本市にも必要。
- A 本市には輝きバンク登録制度があるが、周知が足りていない。今後PRをしていく必要がある。
- Q 婚活制度について、婚活マスターをしているが縁結びが難しい。那須塩原に県の相談窓口があるが、本市にも若者が相談しやすい環境づくりをしてほしい。
- Q ファミリーサポートセンターのサポート側の登録が少ない。困っている人が多い情報発信がまだまだ足りない。
- Q 傾聴ボランティアをしているが、福祉協議会等との横のつながりがない。仕組み作りが必要。
- Q 大田原にある制度を学習できる場所を各自治会で開催してほしい。
- A 若い人向けには与一メールなど情報発信したり、自治会長を集めて市政報告会をおこなっているが、まだまだ情報発信ができていない部分がある。
- Q 自治会で活躍しようとする人が少なくなっている。若い人、青年層がやらない。自治会長、役員あて職が多すぎるのでは、誰もやりたがらない。職業を持っている人は難しい。
- Q 同じような事柄を、ミドル層は横断的に連携とってやる施策に統一してまとめて活動してほしい。
- A ・行政だと役割役割で区切って違うことをやる。課によって違う。まとめられるところは一つにまとめていければと思っているが難しい部分。
・どこかの網に引っ掛かかっていくのも大事だと考える。

- Q たとえば、いきいきクラブと見守り隊、同じレポートを出している。対象者はほぼ同じ。やる人がたくさんいるほうが良いという考えだと思うが、負担が大きい。
- Q 小学校のクラブ、部活で土日送迎で地域の行事に参加できない若者世代にどう手を差し伸べるか。祖父母が近くにいる家は任せられるが、居ない世帯は大変。
- A なにか対策を考えなくてはいけない問題

6. 議会報告会の所感等

- ・参加者が少なくて残念。
- ・アピールの仕方に問題があるのでは？

ー広報や回覧だけでは見ていない人が多い。若い世代は見ない。声を掛け合って参加できる体制づくり。地域づくりも必要。

- ・チラシにタイトルをつけてくれると来やすい。
- ・何を話すのかわからない。
- ・議会報告会ではなく視察報告会になっている。
- ・各委員会での議会が抱えている問題、市が抱えている問題を聞きたかった。
- ・テーマがあった方が参加しやすいのでは？
- テーマの事を聞きたい人が集まれる、質問も考えてくれる。
- ・サブタイトルをつけたらどうか。
- ・わかりやすい言葉で説明してほしい。